

＜試料取扱い上の注意事項＞

下記事項には重々ご注意の上、操作手順に沿って試料を取扱い下さい。

※測定項目は微量成分です。精製水、ピペット、容器などに汚染がないよう十分注意して下さい。

※試料はヒト血液等を原料として調製されています。感染性を有するものとして、注意して取扱い下さい。

＜試料の操作手順＞

【溶解が必要な試料】

項目	性状	溶解量	操作手順
HbA1c	凍結乾燥 Hb	-	1. 溶解後、冷蔵庫内で 45 分間以上放置した後、翌日までに測定してください。測定する前に軽く転倒混和してください。 ※溶解・希釈手順は別表記載

＜HbA1c 試料の操作手順＞

【HPLC 法】

メーカー ・機種/試薬	操作手順
アークレイ ・ HA-8160 ・ HA-8170	専用溶解液あるいは精製水 0.2 mL で溶解し、さらに専用希釈液で 121 倍に希釈して、測定してください。 ※測定結果において A0 エリアが日常検体測定を実施している際と同等の適正な範囲に入っていることを確認してください。
アークレイ ・ HA-8180 ・ HA-8180T ・ HA-8180V ・ HA-8181 ・ HA-8182 ・ HA-8190V ・ AH-8280 ・ AH-8290	試料を専用溶解液あるいは精製水 0.2mL で溶解し、さらに専用希釈液で 71 倍に希釈して、測定してください。 ※測定結果において A0 エリアが日常検体測定を実施している際と同等の適正な範囲に入っていることを確認してください。
アークレイ ・ HA-8380 ・ HA-8380V	試料を専用溶解液あるいは精製水 0.2mL で溶解し、さらに専用希釈液で 101 倍に希釈して、測定してください。 ※測定結果において A0 エリアが日常検体測定を実施している際と同等の適正な範囲に入っていることを確認してください。
アークレイ ・ HA-8410 積水メディカル ・ RC20	試料を精製水 0.14mL で溶解し、検体採取デバイスで吸引します。検体採取デバイスを装置にセットし、日常検体と同様に測定を行ってください。 ※測定結果において A0 エリアが日常検体測定を実施している際と同等の適正な範囲に入っていることを確認してください。
東ソー ・ HLC-723G8 ・ HLC-723G9 ・ HLC-723GX ・ HLC-723GII ・ HLC-723GR01	精製水 0.2mL で一次溶解します。 その後の二次希釈方法は使用しているキャリブレータの種類によって異なります。 「HbA1c キャリブレータセット(J)」を使用する場合、精製水で 121 倍希釈して、測定してください。 「HbA1c キャリブレータセット (S)」を使用する場合、「HbA1c 用希釈液」で 121 倍希釈して、速やかに測定してください。 測定結果に AREA HIGH や、AREA LOW の表示がないことを確認してください。表示がある場合には、希釈倍率を 101 倍から 151 倍の間で調整してください。
パイオ・ラッドラボラトリーズ ・ D-10 ・ D-100 ・ Variant II ・ Variant II Turbo	精製水 0.2 mL で溶解し、洗浄／希釈液で 201 倍希釈して、測定してください。

【免疫比濁法】

メーカー ・機種/試薬	操作手順
アークレイ ・ SI-3610 ・ SI-3620	精製水 0.06 mL で溶解し、希釈せずに測定してください。
アークレイ ・ スポットケム i-Pack HbA1c	精製水 0.2mL で溶解し、希釈せずに測定してください。
オーソ・クリニカル・ダイアグ ノスティックス ・ ビトロスマイクロチップ HbA1c	精製水 0.2 mL で溶解し、さらに専用溶血試薬で 71 倍希釈してください。 溶液をよく混和し 1~2 分間静置します。泡が収まり、溶液の色が赤から茶緑色に変化したことを確認し、1 時間以内に測定をしてください。 装置上では精度管理試料として測定してください。
キャノンメディカルダイアグ ノスティックス ・ デタミナーL HbA1c	精製水 0.2mL で溶解し、さらに精製水で 41 倍希釈して、測定してください。

シーメンス HCD ・DCA2000、DCA バンテージ	精製水 0.2mL で溶解し、よく攪拌後、測定してください。
シーメンス HCD ・フレックスカートリッジヘモグロビン Alc IFCC II AIC キット	精製水 0.2mL で溶解し、よく攪拌後、カップにて測定してください。
ニプロ ・アトパネル HbA1c	精製水 0.2mL で溶解し、日常検体と同様に測定してください。
日本光電 ・CHM4100	セルタックケミリンス 0.2mL で溶解し、希釈せずに精度管理メニューで測定してください。
日本光電 ・MEK-1303	精製水 0.2mL で溶解し、希釈せずに精度管理メニューで測定してください。
富士レリオ ・ラビディアオート HbAlc-L	精製水 0.2 mL で溶解し、さらに検体希釈用液または精製水で 41 倍に希釈して、測定してください。
富士レリオ ・AU シンクロン試薬 HbAlc	精製水 0.2 mL で溶解し、さらに検体希釈用液または精製水で 41 倍に希釈して、測定してください。
堀場製作所 ・バナリスト HbA1c	精製水 0.06mL で溶解し、希釈せずに測定してください。
ロシュ・ダイアグノスティックス ・コバス b 101 用 HbAlc 測定試薬ディスク	精製水 0.2mL で溶解し、よく攪拌後、測定してください。
ロシュ・ダイアグノスティックス ・コバス試薬 HbAlcIII：全血モード ・コバス試薬 HbAlcIII：溶血モード	精製水 0.2 mL で溶解し、攪拌後、測定してください。 溶血モードで測定する場合、精製水 0.2mL で溶解し、攪拌後、専用の溶血試薬で 71 倍希釈して、測定してください。
ロシュ・ダイアグノスティックス ・ルミラ・HbAlc テストストリップ	精製水 0.2mL で溶解し、よく攪拌してください。日常検体と同様に測定してください。

【酵素法】

メーカー ・機種/試薬	操作手順
アークレイ ・サンク HbAlc	精製水 0.2 mL で溶解し、さらに精製水で 15 倍希釈して、測定してください。
キャノンメディカルダイアグノスティックス ・メタボリード HbAlc	精製水 0.2mL で溶解し、さらに精製水で 16 倍希釈して、測定してください。
シーメンス HCD ・アテリカ CH HbAlc-E	精製水 0.2mL で溶解し、よく攪拌後、測定してください。
積水メディカル ・ノルディア N HbAlc(RE 含む) ・L タイプ ノルディア N HbAlc ・HbAlc オート「TBA」	精製水 0.2 mL で溶解し、専用希釈液で 2 倍に希釈、さらにノルディア N HbAlc 用前処理液で 7 倍希釈してください。 ※L タイプ ノルディア N HbAlc を適用するラボスペクトシリーズは、精製水 0.2 mL で溶解し、専用希釈液で 2 倍に希釈、さらに L タイプ HbAlc 前処理液で、5 倍希釈してください。 ※日本電子 BM 自動前処理機能付きの装置(BM6010、BM9130 など)は精製水 0.2mL で溶解し、専用希釈液で 2 倍に希釈、さらにノルディア N HbA1c 用前処理液で 5 倍希釈してください。
ニプロ ・ラビック L	精製水 0.2mL で溶解し、よく攪拌後、測定してください。
日本電子 ・BM テスト HbAlc	精製水 0.2 mL で溶解し、専用希釈液で 2 倍に希釈し、さらに BM テスト HbAlc 前処理液で 5 倍希釈して、測定してください。

	この試料をコントロールポジションあるいは溶血済みポジションで測定します。
--	--------------------------------------

【キャピラリー電気泳動法】

メーカー ・機種/試薬	操作手順
アークレイ ・ザラボ 001 A1c HD	精製水 0.12 mL で溶解し、希釈せずに測定してください。

【アフィニティ法】

メーカー ・機種/試薬	操作手順
東洋紡 ・チェッカー HbA1c	精製水 0.2 mL で溶解し、泡立ないようにゆっくりと混和し、希釈せずに測定してください。
ラジオメーター ・HemoCue HbA1c 501	精製水 0.2 mL で溶解し、泡立ないようにゆっくりと混和し、希釈せずに測定してください。

6.各試料の留意事項

【各試料の留意事項】

項目	留意事項
HbA1c	1. バイアルに精製水を 0.2mL を加えて溶解した時の総ヘモグロビン濃度は約 10g/dL です。上記の【5.HbA1c 試料の操作手順】にしたがって適正な希釈をし、測定してください。記載がない測定機種の場合、製造販売元にお問い合わせください。